



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2017年4月9日(日) 9:30~12:00

(小雨後曇り)

参加者 一般:2名(うち子ども1名)

指導員:4名

## テーマ 「動き始めた虫を見よう」

木曽川の旧堤防の道路はソメイヨシノが見頃です。

今日のテーマは虫ですが、開始時は小雨がぱらつき、昆虫が飛ばないので、花を見ながらスタートしました。

前は蕾だったアメリカハナノキはすでに小さな実をつけ、コブシの花は終りかけていましたが、落ちていた花卉の芳香を体験できました。

堤防の南斜面にはスミレの大きな群落があり、見事に花を咲かせていました。同じスミレ (*Viola mandshurica*) でも、花の色や形が微妙に違っていることが見てとれました。少し上流側にはスミレより小型のヒメスミレも咲いていました。

スミレの生えている辺りには外来種のヒサウチソウの芽が伸び始めていました。来月はこのヒサウチソウとセイヨウヒキヨモギが満開になっているものと思われます。

大野極楽寺公園ではピンク色のミヤマウグイスカグラの花が咲いていました。海上の森で見かけるヤマウグイスカグラより毛が多いことで見分けられます。

花を見て回っているうちに雨が止み、気温が上がってベニシジミ、モンキチョウ、ツマグロヒョウモンなどが飛び始めました。周りを見るとそれぞれのチョウの食草のスイバ、シロツメクサ、スミレがありました。

ところで、昨秋川原で見つけて以来先月まであったキツネの巣穴は、何故か人の手で埋め戻されていました。ここを使っていたキツネはどこかで無事に生息していて欲しいものです。(報告:齋竹)



(観察会のようす)

### <その他観察できたもの>

虫: ナナホシテントウ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ツバメシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ

鳥: ツグミ、シメ、ツバメ、ヒバリ、シジュウカラ、ホオジロ、トビ、オオタカ、メジロ、キジバト、ムクドリ、カワセミ、ハシブトガラス、ウグイス(声)、キジ(声)、コジュケイ(声)、シロハラ(声)、コゲラ(声)、ジョウビタキ(声)

花: カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、コメツブツメクサ、ノボロギク、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、コウソリナ、ノゲシ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ムラサキサギゴケ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、イヌナズナ、ミチタネツケバナ、コハコベ、スズメノヤリ、ユキヤナギ、サンシュユ、ヤブツバキ、ハナノキ、ヤマモモ(蕾)



(ミヤマウグイスカグラ)



(ベニシジミ)



(ツマグロヒョウモン)